

2025 安全報告書



中部国際空港連絡鉄道株式会社

Central Japan International Airport Line Company, Ltd.

は じ め に

当社の鉄道事業につきまして、日頃からご理解を賜り、ありがとうございます。

当社は、鉄道事業法に基づく第三種鉄道事業者として、名鉄常滑駅から中部国際空港駅までの間（以下「空港線」といいます。）の鉄道施設を保有し、営業運転及び施設の保守管理を担う第二種鉄道事業者の名古屋鉄道株式会社と連携しながら輸送の安全確保に努めております。

本報告書は、鉄道事業法第19条の4に基づき、2024（令和6）年度の空港線における安全確保の取組について、皆さまに広くご理解いただくために作成いたしました。

空港線は、本年、おかげさまで開業20周年を迎えることができました。これから先も更なる安全確保の取組を充実させるため、皆様からのご意見、ご感想を頂戴できれば幸いです。

2025年9月19日

中部国際空港連絡鉄道株式会社

代表取締役社長 桑 原 良 隆

1 基本的な方針

(1) 安全基本方針

- 一致協力して輸送の安全の確保に努めます。
- 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
- 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のあるときは最も安全と思われる取り扱いをします。
- 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとります。
- 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- 常に問題意識を持ち、必要な改革に取り組むよう努めます。

(2) 安全目標

「安全の確保」を常に考え、鉄道施設に起因する事故・輸送障害を発生させないこと。

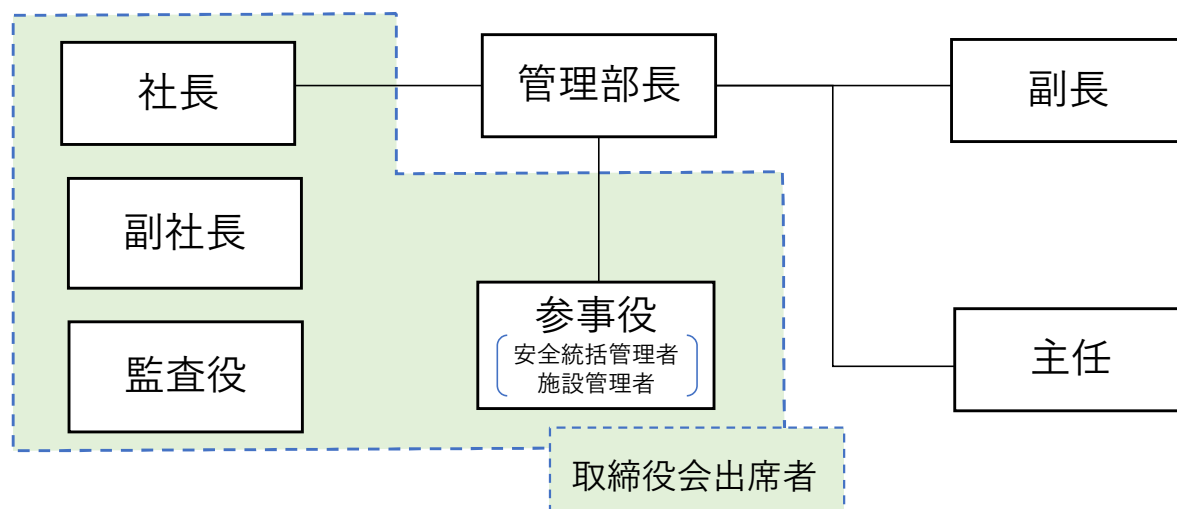
(3) 安全重点施策

空港線の重要な役割を認識し、安全・安心・安定輸送を維持するため、第二種鉄道事業者と連携を強化し、次の施策に取り組む。

- ・ 法令及び規則遵守の徹底
- ・ 駅・鉄道施設及び設備等の安全確保の徹底
- ・ コミュニケーションの促進による情報の収集と改善への活用

2 安全管理体制と方法

(1) 社内安全管理体制



【各責任者の責務】

役職	責務
社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を有する。
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
管理部長	輸送の安全の確保に必要な投資、予算、要員等に関する事項を統括する。
施設管理者	鉄道施設に関する事項を統括する。

(2) 安全管理方法

- 事故・災害等に備え、緊急時における連絡体制その他規程を定め、速やかに関係機関との連絡・連携ができるよう、体制図等を当社事務室の見やすい場所に掲示しております。
- 当社は、鉄道施設の保有主体ですが、第二種鉄道事業者（名古屋鉄道）との間で締結した協定に基づき、同社から施設の保守管理及び事故・災害等の情報について報告を受けており、必要に応じて同社に改善等を指示することとしております。
- 安全統括管理者並びに役員及び社員は、適宜現場に赴き、輸送に係る業務の実施及び管理の状況を確認しております。

3 事故等の状況と再発防止措置

○ 2023年度に発生した 空港線 電気設備等の損傷事案に係る措置

2024年3月20日 19時19分、中部国際空港駅発 名鉄岐阜駅行の特急列車が、中部国際空港駅～りんくう常滑駅間を走行中、運転台後方屋根部分からの衝撃音、室内灯消灯および架線電圧0ボルトを認めたため、直ちに非常ブレーキを掛け、りんくう常滑駅ホーム始端手前553mに停止しました。（翌21日7:51の下り線運転再開まで同線の運転を見合わせ）

確認したところ、進行方向1両目のパンタグラフの上部アームが後方に折れ曲がり、一部が落下。残るパンタグラフ2基は全体が車両から外れ落下していたほか、約310mにわたって架線やそれを留める金具等が損傷していました。

本件について、名古屋鉄道から、(公財)鉄道総合技術研究所に依頼した原因究明調査結果に基づき、①アーム支持金具に廻り止めを追加、②風速による徐行レベル基準を引上げ、③カメラ・風速計などの監視体制の強化等の再発防止措置を実施した旨の報告を2025年4月に受けました。

今後も引き続き、第二種鉄道事業者の名古屋鉄道と連携を密にして電気設備の補強を進めるなど輸送の安全確保に努めてまいります。

4 行政指導等に対する措置の状況

○ 航路標識灯特別総点検

2025年1月8日、名古屋海上保安部による海上橋の航路標識灯の特別総点検を受検し、保守状態・点検記録の保管状況等、指摘事項はありませんでした。



5 安全確保のための措置

(1) 社員教育・人材育成

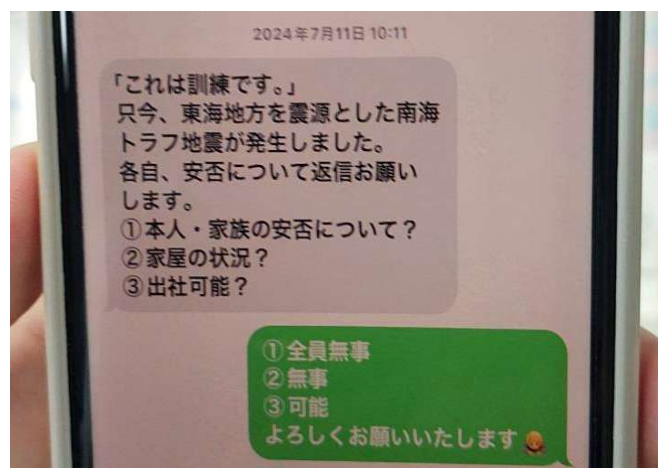
鉄道事業法や鉄道安全管理規程、運輸安全マネジメント制度についての社内勉強会を開催し、関係法令等の遵守と安全最優先の原則の徹底を図りました。



2024年8月 社内勉強会

(2) 社内非常時連絡通報訓練

非常時に備えて役職員一人ひとりの安否をSMSで確認するとともに、その集約した結果を社長へ報告する訓練を実施しました。



2024年7月 社内非常時連絡通報訓練

(3) 携帯カードの携行

「安全に関する基本的な方針」と「安全目標」並びに「安全重点施策」を記した携帯カードを作成し、役職員はこのカードを常に携行して安全を心掛けました。

安全に関する基本的な方針

- (1) 一致協力して輸送の安全の確保に努めます。
- (2) 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- (3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
- (4) 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のあるときは最も安全と思われる取り扱いをします。
- (5) 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとります。
- (6) 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- (7) 常に問題意識を持ち、必要な改革に取り組むよう努めます。

2024年度

安全目標

- 「安全の確保」を常に考え、鉄道施設に起因する事故・輸送障害を発生させないこと。

安全重点施策

- 空港線の重要な役割を認識し、安全・安心・安定輸送を維持するため、第二種鉄道事業者との連携を強化し、次の施策に取り組む。
 - ・法令及び規則遵守の徹底
 - ・駅・鉄道施設及び設備等の安全確保の徹底
 - ・コミュニケーションの促進による情報の収集と改善への活用

中部国際空港連絡鉄道株式会社
代表取締役社長 原 重人

携帯カード

（４）各種訓練への参加

第二種鉄道事業者の名古屋鉄道が開催する訓練に積極的に参加しました。

○ 空港線鉄道事故想定訓練

徒歩または車で電気室等まで進入するルートを確認するとともに、全線高架構造となっている空港線での事故を想定し、緊急道路から高所作業車（旋回型軌陸車）を使用して機器・資材を高架上へ荷揚げする訓練



2024年7月 空港線鉄道事故想定訓練

○ 災害事故総合復旧訓練

巨大地震の発生を想定し、発災時の初期対応からお客さまの案内・誘導や車両・施設復旧作業等について、鉄道の各部門が連携して実践的な訓練を行い、指揮命令系統の確認や相互協力体制の確立を図ることを目的とした訓練



2024年11月 災害事故総合復旧訓練

○ 鉄道テロ対応訓練

鉄道テロなど不測の事態が発生した場合におけるお客さまの避難誘導や、警察をはじめ関係各部署との迅速な連携体制の確立等、異常時に適切な対応を行うことができるよう、知識・技能の向上を目的とした訓練



2025年1月 鉄道テロ対応訓練

○ 空港線異常時合同訓練

空港線での輸送障害等の発生を想定し、運転指令・駅部門・乗務区部門の連携を密にした実践的な訓練を行い、規定の理解や基本手順の確認、早期列車運行再開に向けた知識・技能の向上を図る訓練



2025年3月 空港線異常時合同訓練

(5) 保守管理・安全対策の取組

保守管理については、当社保有施設の保守を担う名古屋鉄道から、2024年度定期検査・保守実績及び2025年度定期検査・保守計画について2025年4月21日に報告を受けました。

そのほか、安全対策の取組として、架線支持物更新工事をはじめ、当社が保有する施設設備の保修・更新を行いました。

6 その他

(1) 第二種鉄道事業者（名古屋鉄道）との連携

○ 意見交換会

当社役員及び社員が、名古屋鉄道の駅・土木・電気関係の現場で活躍する係員の皆さまと意見交換を行い、輸送の安全確保に向けての取組等を双方で確認しました。



2024年11月 意見交換会

○ 空港線施設合同巡視

当社役員及び社員が、当社保有施設（空港連絡橋りょう、電気室等）の状況を名古屋鉄道の土木・電気の係員の皆さまと一緒に巡視・確認するとともに、保守管理に関する説明を受けました。



2024年12月 空港線施設合同巡視

（２）社内周知・情報共有

国土交通省や名古屋鉄道など関係機関からの情報収集に努め、当社役員及び社員が出席する連絡会議を通じて情報の周知・共有を図り、問題等の解消に取り組みました。

本報告書に関するお問合せ、
ご意見は右記へお願いします



中部国際空港連絡鉄道株式会社 管理部

電 話 052-959-5661 FAX 052-951-3051

E-mail field_1@aqualine.co.jp